

平成28年度

わたしたちの「越前町」の決算報告



わたしたちの予算が「まちづくり」のためにどのように使われた(決算)かを報告します。



▲ゆったりと生活体験ができる空間(ラフーラ1階ダイニングスペース)

町内での居住体験を通じて町外からの移住を促進するため、2か所目となる移住・二地域居住体験施設「ラフーラ」(小首原区)を整備しました。696万1千円

●定住促進に向けた受け皿づくり

●人に優しい道づくりの推進
利用者が安心・安全に通行できる道路を確保するため、国の補助金を活用しながら、町道の改良・維持補修、消雪設備の整備などを行いました。3億7,697万円

●防災行政無線の整備
デジタル防災行政無線の放送内容を迅速かつ正確に受信できるように、宮崎地区の世帯を中心に戸別受信機を整備しました。1億1,037万6千円

快適で安全に住めるまちづくり

健康で安心して暮らせるまちづくり

元気で活力みなぎるまちづくり

●高齢者福祉施設の充実
宮崎デイサービスセンター「ホタル荘」で、老朽化設備の更新や利用者の利便性に対応した入浴設備の整備を行いました。3,717万円

人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

●漁業の担い手の育成
平成27年度から進めてきた越前に「ミュージアムの再整備が完了し、町の基幹産業である漁業の担い手の育成と「越前がに」の調査研究の拠点施設として、リニューアルしました。1億53万4千円

●学校教育環境の充実
わかりやすい授業により児童の学力向上を図るため、ふるさと納税による寄附金を活用し、全小学校にデジタル教科書(算数)を導入しました。317万5千円



▲児童が授業に取り組みやすいよう、デジタルを活用した算数教材を整備

●学校給食センターの整備

統合学校給食センターを建設するため、旧宮崎生涯学習センターなどの解体や用地購入、建設に必要な測量や設計を行いました。9,177万4千円



▲越前がにを映像で学ぶことができるマルチシアター

個性豊かで誇りのもてるまちづくり

町民に開かれた健全行政のまちづくり

●太陽光発電設備の整備

織田小学校、朝日・宮崎・越前中学校に太陽光発電設備を整備しました。通常時は学校の電力源として運用し、災害時には避難所としての電力を供給します。1億1,065万4千円

●情報媒体の充実

町の行政情報を誰もが障害なく受け取ることができるよう、町のホームページを更改しました。1,134万円



▲絶景と料理を堪能できるレストランにリニューアル(ガレットカフェ HAZÉ)

●観光資源の魅力向上

観光客の増加を図るため、「越前水仙・越前海岸の絶景・夕日」がのぞめる越前岬水仙ランドの自然文学資料館をレストランに改修しました。1億1,993万3千円



▲グラウンドに整備された太陽光発電システム(写真は越前中学校グラウンド)

区分	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引残額 (A)-(B)		
	(A)	対前年度比 (%)	(B)	対前年度比 (%)			
一般会計	13,974,829	▲8.0	13,152,477	▲7.4	822,352		
特別会計	国民健康保険事業	2,581,692	▲2.4	2,572,421	▲2.3	9,271	
	介護保険事業	2,313,541	▲1.4	2,268,453	▲2.0	45,088	
	後期高齢者医療事業	233,562	2.6	228,639	1.3	4,923	
	簡易水道事業	441,918	▲5.8	435,607	▲6.1	6,311	
	公共下水道事業	631,576	▲24.3	625,152	▲24.5	6,424	
	集落排水事業	361,003	0.9	354,770	0.7	6,233	
	温泉事業	18,925	12.5	15,989	6.3	2,936	
企業会計	農林漁業体験学習館事業	27,059	0.8	27,059	0.8	0	
	土地区画整理事業	150,697	936.9	139,118	857.3	11,579	
	上水道事業	収益的収支	269,450	0.2	255,805	▲2.1	13,645
	資本的収支	24,193	25.9	169,276	8.0	▲145,083	
国民健康保険病院事業	収益的収支	320,631	2.5	314,509	▲1.5	6,122	
資本的収支	42,004	▲83.6	127,032	▲64.1	▲85,028		
合計	21,391,080	▲7.0	20,686,307	▲6.7	704,773		

※決算額の千円未満を四捨五入しています。

■一般会計の決算状況

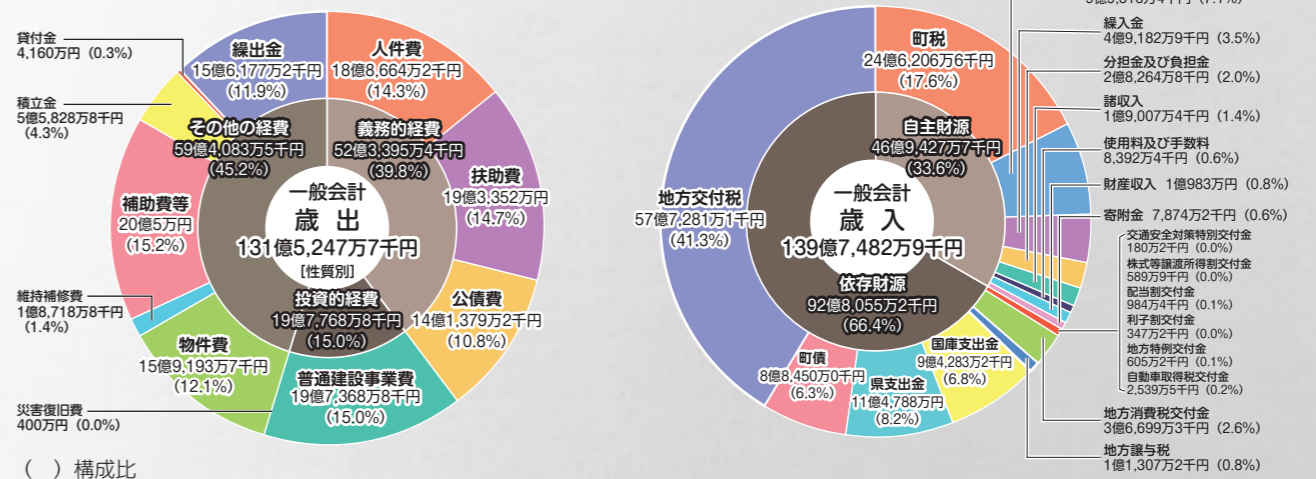
平成28年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた歳入総額は213億9,108万円で、前年度より16億198万6千円の減、歳出総額は206億8,630万7千円で、前年度より14億7,934万3千円の減となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた収支は、7億477万3千円の黒字となりました。そのうち、教育や福祉、土木など一般的な行政運営をまかなう一般会計では、歳入が139億7,482万9千円で、前年度より12億2,303万円の減(8.0%減)、歳出が131億5,247万7千円で、前年度より10億5,021万9千円の減(7.4%減)となりました。

■一般会計・歳入決算の状況

一般会計の歳入総額は、前年度とくらべて12億2,303万円減少しました。要因として、普通交付税が、町村合併による特別な加算額の縮減や交付税で手当てされる町債の償還の一部終了などにより6億5,475万3千円の減(11.7%減)が挙げられます。また、朝日地区統合保育所(あさひ保育所)や朝日児童センターの建設完了により、町債が6億4,940万円の減(42.3%減)となりました。

■一般会計・歳出決算の状況

一般会計の歳出総額は、前年度とくらべて10億5,021万9千円減少しました。要因として、普通建設事業費が越前岬水仙ランドの自然文学資料館のレストランドの修繕や小・中学校に太陽光発電設備の整備などを行いました。前年度の朝日地区統合保育所(あさひ保育所)や朝日児童センターの建設完了による減少額が大きく、3億7,504万円の減(16.0%減)となったことが挙げられます。また、公債費が、町債の現在高を着実に減少させてきたことにより、5億7,636万3千円の減(29.0%減)となりました。



() 構成比

平成28年度決算の越前町の財政指標

財政指標区分	越前町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	黒字のため健全	13.67%	20.0%
連結実質赤字比率	黒字のため健全	18.67%	30.0%
資金不足比率	全会計で資金不足無し	20.0%	—
実質公債費比率	9.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	1.9%	350.0%	—

健全化判断比率と資金不足比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、各年度決算に基づき算定されます。この比率には、法律で定められた早期健全化基準や経営健全化基準があり、比率のいずれかが基準を超えた場合は、財政健全化計画や経営健全化計画を策定し、財政の早期健全化や公営企業の経営の健全化を図らなければなりません。越前町の平成28年度決算ではすべての比率が基準を下回り、財政は「健全」となっています。

わたしたちのまちの財政状況

平成28年度決算の健全化判断比率と資金不足比率は「健全」

実質公債費比率は9.1%

将来負担比率は1.9%

「実質公債費比率」とは、町債（借金の返済額）が標準財政規模[※]に占める割合です。町債の返済額などには、一般会計だけでなく、上下水道・病院の公営企業会計、ごみ・し尿処理や消防の業務を行う一部事務組合に対する町からの負担金のうち、団体の借金の返済に充てられたとみられる額も含まれています。この比率が高いほど、町に対する借金に關係する負担が大きいこととなります。

町では、これまで借金の繰り上げ返済や金利の低い借金への借り換え、事業の計画的な実施により借金を減らしてきました。この結果、実質公債費比率は、平成28年度決算では9.1%となり、ピーク時の平成18年度と比べ15.7ポイント、前年度と比べ1.4ポイント改善しました。

（※）町税や普通交付税、各種譲与税・交付金など、使途が限定されない通常の年間収入の合計額

「将来負担比率」とは、将来負担しなければならぬ実質的な負担が標準財政規模に占める割合です。将来負担しなければならぬ実質的な負担は、次のものなどの合計です。

- ・町債（借金）の残高
- ・上下水道・病院の公営企業会計やごみ処理・消防の業務を行う一部事務組合の借金の返済に充てる一般会計などの負担見込額
- ・職員の退職手当支給予定額

この比率が高いほど、現在背負っている借金などが将来財政を圧迫する可能性が高いこととなります。

町では、町債の残高の縮減や財政調整基金への積立てにより将来的な負担の軽減を図っています。

この結果、将来負担比率は、平成28年度決算では1.9%となり、平成19年度と比べ14.9.5ポイント、前年度と比べ3.2ポイント改善しました。

越前かに太郎の家計簿

2ページの「平成28年度一般会計決算の歳入額と歳出額（性質別）」を1,000分の1にし、「越前かに太郎」の1年間の家計に置き換えてみました。

収入		支出	
①給料	246万円	①生活費	548万円
・町税（町民税や固定資産税など、みなさんから納められた税金）		・人件費（各種委員の報酬や職員給与に必要なお金）	
②財産・臨時収入	75万円	・物件費（施設の管理費や事業の委託料など）	
・使用料（町の施設や設備の利用料など）		・補助費等（団体などに対する負担金や補助金）	
・負担金（町の事業で利便を受ける人が負担するお金）		②医療費	193万円
・諸収入（貸付金の元利収入や団体・個人からの負担金など）		・扶助費（子どもや高齢者、障がい者の福祉などに必要なお金）	
・財産収入（町の土地などの売却代金）		③借金の返済金	141万円
・寄附金（個人や団体から寄附されるお金）		・公債費（町債の元金及び利子の支払いに必要なお金）	
③貯金の取崩し	49万円	④家の増築や車の購入費	198万円
・繰入金（町が積み立てているお金（基金）の取崩しや特別会計・企業会計から受け入れるお金）		・普通建設事業費（町の施設や道路などの新・増築や大規模な設備の購入に必要なお金）	
④前年度の残金	99万円	・災害復旧費	
・繰越金（前年度決算からの繰越金）		⑤修繕費	19万円
小計(A) ※自主財源	469万円	・維持補修費（町の施設の修繕に必要なお金）	
⑤支援金	840万円	⑥子どもへの仕送り	156万円
・地方交付税（国から交付されるお金）		・繰出金（特別会計や事業会計に支出されるお金）	
・国・県からの補助金（法律などに基づく交付金や事業の実施に対する補助金）		⑦貯金	56万円
⑥借入れ	88万円	・積立金（基金に積み立てるお金）	
・町債（銀行などからの借金）		⑧知人への貸付金	4万円
小計(B) ※依存財源	928万円	・貸付金（団体などに対し貸し付けるお金）	
収入合計(A)+(B)	1,397万円	支出合計	1,315万円

町民1人あたり現在高
町債(借金) 約84万円
基金(貯金) 約31万円

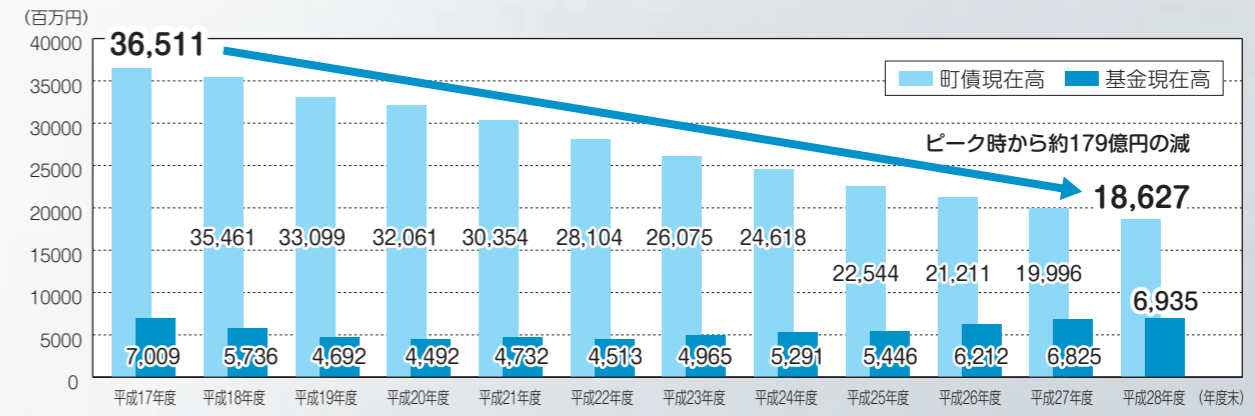
※それぞれの現在高を、平成28年度末の越前町の住民基本台帳人口22,258人で割って算出しています。

平成28年度末の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた町債（借金）の現在高は18.6億2,732万9千円で前年度より13億6,823万4千円の減少、基金（貯金）の現在高は69億3,487万円で前年度より1億1,005万9千円の増加となりました。

町債の発行（借金）は、元利償還金（返済金）を上回らないよう、計画的に事業を実施するなど、町債現在高を着実に減少させ、財政の健全化を進めています。

また、基金は、地方財政法に基づき、前年度の余剰金の半分を積み立てることにより、事業の実施や収入の減少などによる、将来的な財政負担に備えています。

町債(借金)と基金(貯金)の年度末現在高の推移



平成29年度9月補正予算の概要

9月補正予算の補正額は、次のとおりです。

予算規模	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	132億2,004万2千円	3億1,300万6千円	135億3,304万8千円
特別会計	66億3,504万3千円	6,934万6千円	67億438万9千円
事業会計(上水道)	4億1,059万8千円	260万円	4億1,319万8千円
合計	202億6,568万3千円	3億8,495万2千円	206億5,063万5千円

※病院事業会計の補正は、ありません。

【主な補正内容】

- 小樽区の海岸に設置してあるローホール波力発電システムで、さらに効率的な発電を行うための改良に伴う経費を計上 (9,069万8千円)
- 本庁舎の整備に必要な工事設計業務委託料を計上 (7,452万円)
- おもてなし商業エリアにおける店舗改修補助金や小規模事業者に対するクレジット決済導入補助金を計上 (460万円)